

白石市まち・ひと・しごと創生総合戦略：「人口ビジョン」及び「総合戦略」の体系（素案）

人口ビジョン		総合戦略				
将来展望		テーマ	都市づくりの重点戦略	基本目標・数値目標(別紙1参照)	施策の方向性・KPI	具体的な施策
<p>白石市人口の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総人口は減少傾向にあり核家族化が進行 ○生産年齢人口の割合は概ね横ばいであるが、少子高齢化が急速に進展 ○自然減（出生数-死亡者数）が進行 ○合計特殊出生率は2015年1.36で、概ね低下傾向にあるが宮城県平均より高い ○社会動態は転出超過が継続 ○総人口が減少傾向にある中、白石地区と大平地区の構成比が一貫して高い ○人口移動の状況は、転出・転入とも仙台市が最も多い。 		<p>人・暮らし・環境が活きる交流拠点都市づくり</p>	<p>交流を育む地域の人材力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもてなしの心の磨き上げと蓄積 ・伝統的な知恵、技の継承と価値の向上 ・地域づくりマネージャーの育成 	<p>【基本目標1】 産業の活力を生む新しい価値を創造し続けるまちづくり</p> <p>既存企業のニーズの把握を基に、企業存続の支援に努めるとともに、市内企業とのマッチングや関連企業等の誘致に取り組み、雇用の確保・拡大を推進します。</p> <p>数値目標：年間就職件数の増加 市内事業所従業員数の増加</p>	<p>【施策①】 企業誘致の推進と立地支援策の提供による雇用の確保 KPI:</p> <p>【施策②】 既存製造業等企業や商店街に対する経営支援策の拡充 KPI:</p> <p>【施策③】 農業6次産業化の推進 KPI:</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致活動の実施と企業立地支援策の提供 ・既存企業に係る関連企業の進出可能性等の把握と立地促進 ・農業や観光等関連企業の立地支援策の提供 ・既存立地企業のニーズ把握と立地継続のためのサポート体制の確立 ・中心商店街活性化事業の支援 ・空き店舗活用の促進 ・農畜産物の高品質・高付加価値化と6次産業化の推進 ・農業担い手の育成・確保
<p>将来人口に及ぼす自然増減・社会増減の影響度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自然増減の影響度：中位3 ○社会増減の影響度：中位3 <p>※白石市では、自然増減の影響度、社会増減の影響度ともに中位の「3」であり、出生率を上昇させる施策、人口の社会増をもたらす施策を併せて実施することが人口減少傾向を抑制する上で、より効果的</p>			<p>交流を生かし、創造する白石ブランドの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暮らしを支えるコミュニティの強化 ・地域産業の活性化による雇用の拡大、創造 ・交流から生まれる新たな定住・移住の推進 	<p>【基本目標2】 市民が主役になって地域をつくり、交流を楽しむまちづくり</p> <p>新たな産業の誘致に伴う定住・移住を推進するとともに、白石城を中心とする多彩な地域資源を徹底活用した観光交流に注力し、来街を契機に定住・移住につなげていきます。</p> <p>数値目標：年間観光入込客数の増加 年少人口及び生産年齢人口の増加</p>	<p>【施策①】 地域資源をフル活用した着地型観光による交流人口増の実現 KPI:</p> <p>【施策②】 広域連携による広域観光プログラムの構築 KPI:</p> <p>【施策③】 定住・移住支援策の提供 KPI:</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観光プログラムの企画・提案、PRと実施 ・各地区の地域資源を掘り起こし新たな観光資源化の促進 ・宮城・福島・山形など隣接県も含む広域観光連携による広域観光プログラムの設定及びPR ・定住・移住に係る生活・就職等情報の提供 ・住宅対策等の定住化対策の充実 ・定住・移住体験メニューの充実
<p>将来展望人口 2060年(H72)：21,585人</p> <ul style="list-style-type: none"> ○合計特殊出生率が国の目標水準(H32：1.6、H42：1.8、H52：2.1)まで高まるような出産子育て支援をはじめとする施策の充実。 ○若者のUIJターンの促進や子育て世代の定住促進など、施策誘導による社会減の改善。(年少・生産年齢人口がH27-H32の5年間で100人増、H32以降は5年毎で150人増を見込む。) 			<p>交流を支えるネットワーク基盤の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある「白石イメージ」の確立 ・地域資源のフル活用と観光交流基盤の整備 ・豊かな自然環境と景観の保全 	<p>【基本目標3】 安心して子どもを産み育て、心やすらかに暮らせるまちづくり</p> <p>子育て家庭の経済的負担の解消や小児医療や保育など、まちぐるみで保育・子育て支援サービスの充実に努め、安心して子育てができるまちを実現します。</p> <p>数値目標：本市の合計特殊出生率の上昇 子どもを産み育てやすい環境だと感じる市民割合の上昇</p>	<p>【施策①】 地域における子育て支援の充実 KPI:</p> <p>【施策②】 乳幼児及びその保護者の健康の確保・増進 KPI:</p> <p>【施策③】 学校教育環境の整備と家庭・地域の教育力の向上 KPI:</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的支援を含む地域全体で一丸となった子育て支援施策の総合的推進 ・子育て支援サービスの充実と産休・育休制度の徹底 ・健康確保のための各種検診や相談事業の充実、訪問指導、情報提供等の充実 ・子ども医療費や未熟児医療費の助成継続 ・良好な学校教育環境の整備 ・放課後児童クラブ等の運営・充実 ・地域ぐるみで子育て家庭の支援
					<p>【基本目標4】 美しい自然を受け継ぎ、安全で快適に過ごせるまちづくり</p> <p>市内9地区において身近な生活拠点を形成し、同時に、各地区をネットワークする公共交通・情報網を構築することで、車がなくても暮らしやすいまちを実現します。</p> <p>数値目標：白石に住みたい・住み続けたいと思う市民の割合の上昇 公共施設等総合管理計画への理解度の上昇</p>	<p>【施策①】 身近な暮らしを支える地区生活拠点の形成 KPI:</p> <p>【施策②】 市内交通・情報ネットワークの構築 KPI:</p> <p>【施策③】 地域特性を生かした都市環境の整備 KPI:</p>

■総合戦略の基本目標に係る数値目標

基本目標①「産業の活力を生む新しい価値を創造し続けるまちづくり」

(国の基本目標①：地方における安定した雇用を創出する)

●数値目標

- ・年間就職件数（大河原公共職業安定所白石出張所管内）
基準値 1, 283人（平成22年度）→目標値1, 200人（平成31年度）
- ・市内事業所従業員数（4人以上事業所）
基準値 4, 351人（平成22年度）→目標値4, 300人（平成31年度）

基本目標②「市民が主役になって地域をつくり、交流を楽しむまちづくり」

(国の基本目標②：地方への新しい人の流れをつくる)

●数値目標

- ・交流人口（年間観光客入込数）
基準値 約75万人（平成22年度）→目標値100万人（平成31年度）
- ・年少人口及び生産年齢人口の増加数
基準値 なし → 目標値 5年間で100人

基本目標③「安心して子供を産み育て、心安らかに暮らせるまちづくり」

(国の基本目標③：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる)

●数値目標

- ・本市の合計特殊出生率
基準値 平成20～24年まで1.36 →目標値 平成25～29年まで1.60
- ・子どもを生み育てやすい環境だと感じる市民割合
（就学前児童及び小学生児童を持つ保護者）
基準値 約60%（平成25年度） → 70%（平成31年度）

基本目標④「美しい自然を受け継ぎ、安全で快適に過ごせるまちづくり」

(国の基本目標④：時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する)

●数値目標

- ・白石に住みたい・住み続けたいと思う市民の割合
基準値 なし → 70%（平成31年度）
- ・公共施設等総合管理計画への理解度
基準値 なし → 70%（平成31年度）